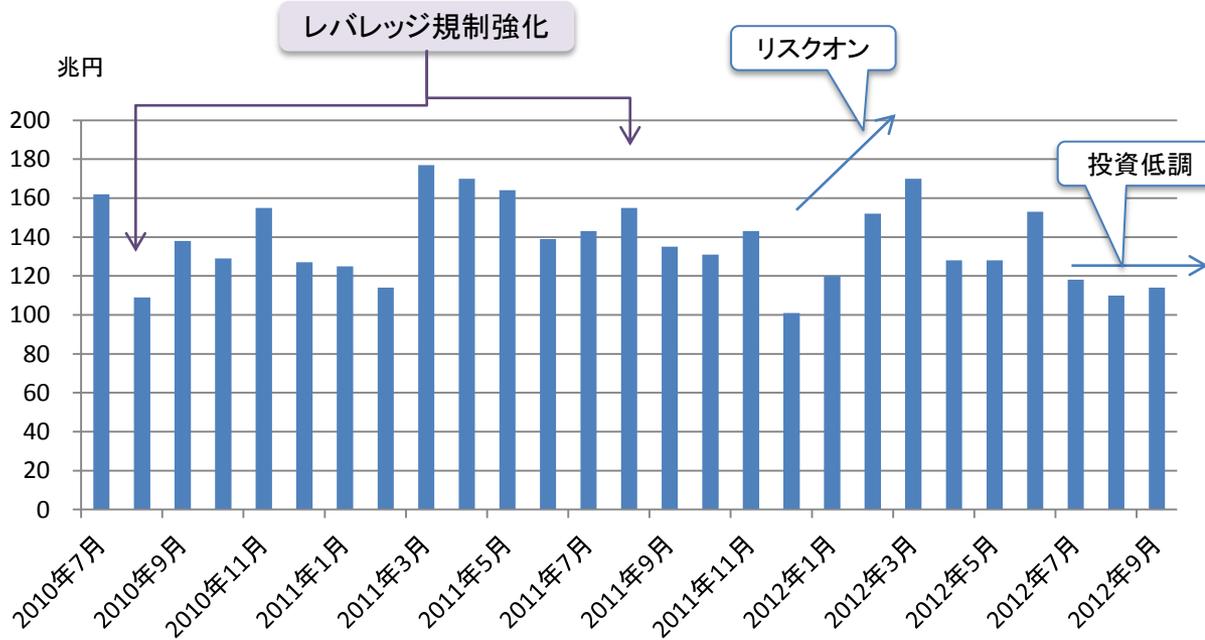


最近のFX取引動向

店頭FX取引金額推移(9月まで)



取引口座数は、
320~330万程度か
(調査会社推計)

高成長は2010年で終
ったが、レバレッジ規制
強化後も一定取引水準

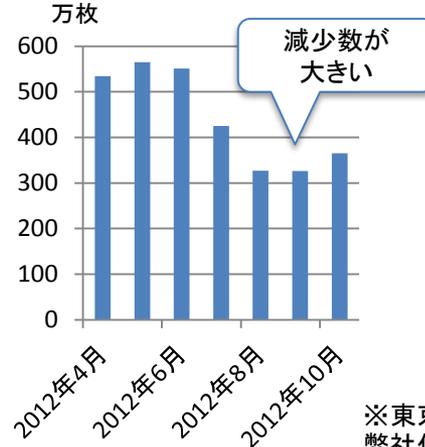
2012年1月より、税制一
本化(20%分離課税)で
取引所FXの
優位性薄れる

※金融先物取引業協会“店頭FX月次速報(9月)”より

取引所FX取引は、店頭FX取引
の約10分の1未満

- ・店頭FX取扱業者69社
(報告数値は53社分)
- ・取引所FX業者22社

取引所総FX取引推移(10月まで)

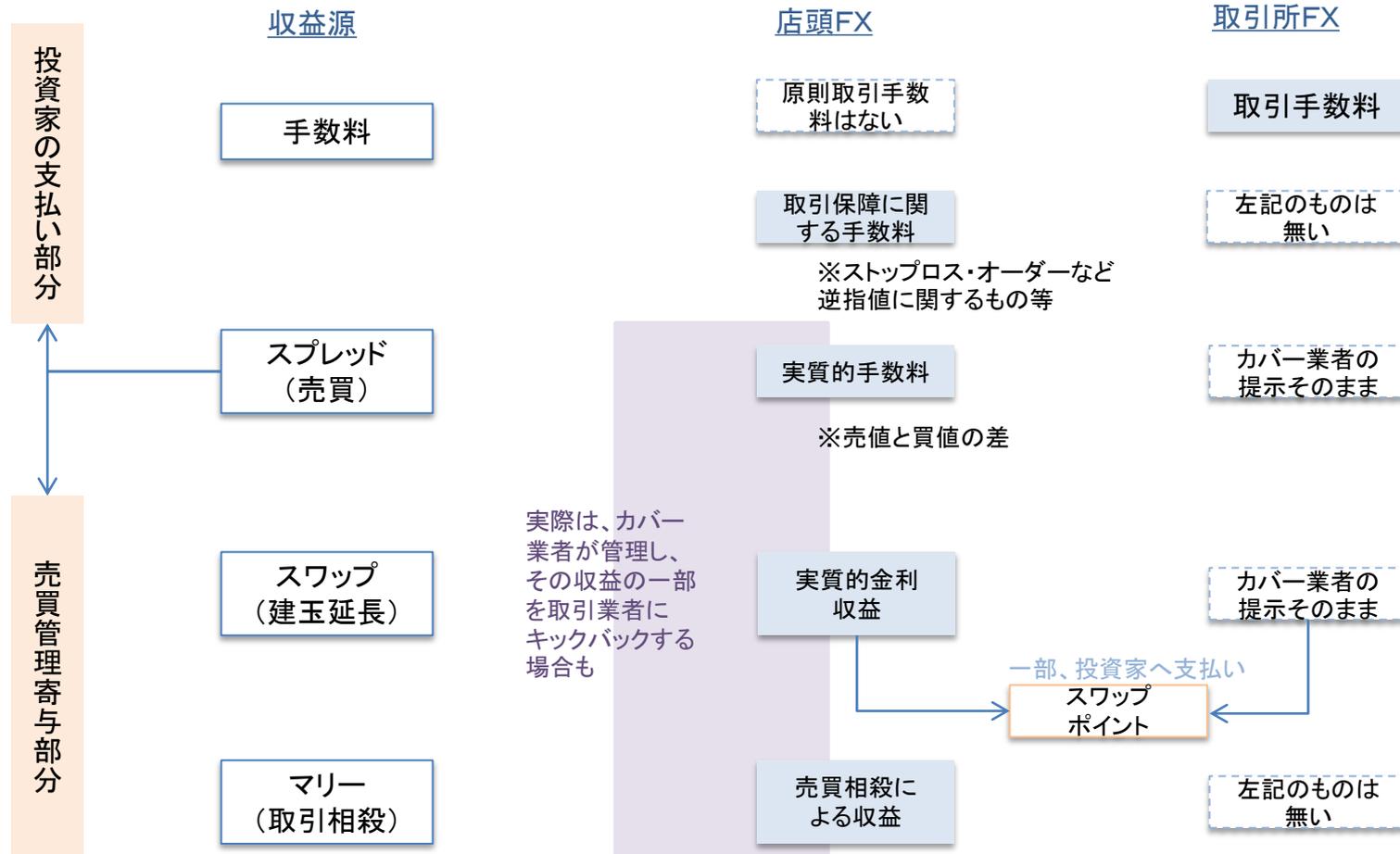


店頭FXは、店頭デリバ
ティブ扱いで不招請勧誘
の対象、一方、取引所FX
は同規制の対象外

※東京金融取引所月次統計資料より
弊社作成



FX取引の収益構造(取扱業者)



FX取引の実像と主な取引手法

口座数: 320~330万口座
証拠金総額: 約1.1兆円(店頭、取引所)
主要な取引層: 30~40才代で全体の半数弱
女性比率: 約2割
レバレッジ平均: 約5倍
平均取引頻度: 店頭FX 37回/月
取引所FX 6回/月
(4月~6月の金融先物取引業協会統計資料より)

取引期間

短

長

レバレッジ

大

小

スキャルピング

デイトレード

スイングトレード

高金利通貨投資

政策期待売買

代替投資手段

ロスカット

厳格

恣意性

重視事項

タイミング

トレンド

ファンダメンタル

代替効果

求める機能

システム売買

トレンド発見

ファンダメンタル分析

ポートフォリオ分析

最近のFX取引サービスの動向 (主に店頭FX)

リスク限定

投資家メリット

FX取引サービスの拡大

銀行

証券会社



低コストの外貨投資

資産の活用

資産のリスクヘッジ

取引の多様化

実質的な為替取引のコスト削減効果

外貨引出しサービス

低レバレッジFX取引

有価証券の証拠金利用

自社システムの取引プラットフォーム化

FX取引のシステムトレード

法人の高レバレッジ取引(×100)

顧客層の拡大

取引量の拡大

外貨預金拡大

外債投資拡大

他社システムの活用